

評議員会議事録

日 時：2002年10月8日（火）
12時00分～13時00分

場 所：ワールドコンベンションセンターサミット 会議室

出席 岡村，海部，加藤，柴田，千田，高橋，福井，舞原，吉井，家，池内，石黒，高津，
者： 谷口，野本，松田，渡部 以上17名

欠席 井上，太田，小山，須藤，高原，牧島，木下，小杉，佐藤（勝），佐藤（修），中
者： 村，長谷川，林 以上13名

有効委任状提出 井上，太田，須藤，高原，牧島，木下，小杉，佐藤（勝） 以上8
者： 名

他に理事会から郷田理事，大石理事，立松理事，茂山理事，また，東條事務長と国立天文台中井氏が出席した。

議事に先立ち，議長に吉井 讓氏を，署名人に柴田一成氏と石黒正人氏を選出した。

報 告

1. 前回議事録の確認（資料1）

郷田理事から前回議事録が報告され，一部修正の上承認された。

2. 2002年秋季年会について

茂山理事より2002年秋季年会に関して報告があった。講演申込数は591件，ポスター発表の件数は260件，PDLは4件，最新情報コーナーは1件，懇親会申し込みが286名である。記者会見は3件，4社であった。今回初めて試行したコンビナー制は次回も試行することを予定している。天文研連と天文学会が共催で特別セッションを2件行った（「法人化と天文学研究の将来」と「ALMA」）。次回（2003年春季）年会より非会員の基本登録料，講演登録料，追加講演登録料の改訂を行う。

これに関連して，記事として取り上げられるためには記者発表トピックスの選定をどのような考えで行うべきかについて意見交換を行い，理事会に対しさらに検討を継続するよう依頼することとした。

3. 天文学会の特定公益増進法人化について

郷田理事が，特定公益増進法人に天文学会がなれるかどうか調査した結果に基づき，天文学会はその対象とならないことを報告した。このため，天文学会への寄付があった場合でも，寄付者が寄付金額を課税対象から控除できないことが明らかになった。

4. 2003年年会（仙台・愛媛）について

春季年会（東北大学）について谷口評議員が準備状況について報告した。3月24日（月）～26日（水）に年会を川内北キャンパスで開催する。公開講演会は3月23日（日）に仙台市との共催で行なわれる。仙台観光コンベンションセンターから補助が出る。秋季年会（愛媛大学）について郷田理事が準備状況について報告した。9月24日（水）に記者発表。25日（木）～27日（土）に年会を行い，28日（日）に公開講演会を予定している。

5. その他

(1) 内地留学奨学金受給者の決定

10月7日に選考委員会を開催し、1名に支給することを決定したことを郷田理事が報告した。

(2) 特許法第30条に基づく学術団体指定について

郷田理事が報告を行った。上記学術団体への指定を申請し承認されると、天文学会で発表しても特許申請の対象となる。申請をしておかないと特許申請ができなくなる。天文学会は申請資格があるので手続きを進める。

(3) 若手自薦による新賞の制定について

前回の評議員会から検討を依頼された、若手自薦による新賞制定について検討状況を郷田理事が説明した。さらに検討を継続する。

(4) 民間財団等の賞の推薦方法について

郷田理事から検討中であるとの報告があった。

(5) 学会各賞の英文名について

郷田理事が、2003年1月の評議員会で承認いただけるよう検討しているとの報告があった。

(6) 通常総会について

本日16時より開催予定であると郷田理事が報告した。事前投票は262名となっているため、総会は成立する見込みである。

議 題

1. 記念出版事業と編集委員会に関する内規案について（資料3）

天文学会100周年記念出版事業に関わる内規案を郷田理事が説明した。これに関し、出版の趣旨等について質疑が行なわれた。海部評議員が目的を達成するためにはしっかりと編集委員会を構成するべきであるとの意見を述べた。これらの質疑応答の後、内規案は一部修正の上承認された。

2. 研究奨励賞内規内定案について（資料4）

以前から継続審議している内規改訂案の改訂案を郷田理事が説明した。受賞者数を毎年若干名と改訂し、よい研究成果を挙げている若手研究者を広く顕彰することを目的としている。質疑応答の結果、内規案のうち「若干名」を「3名以内」と修正の上、承認された。これに関連する同賞記念講演会は1名10分程度に短縮して実施するよう理事会に依頼することとなった。賞金は1人10万円とすることを了承した。

3. その他

(1) ALMA計画の早期実現に関する文部科学大臣宛ての要望書について（資料5）

福井評議員（国立天文台ALMA計画推進小委員会委員長）が天文学会から文部科学大臣宛てに上記要望書を提出して欲しい旨の趣旨説明を行った。質疑応答の結果、要望書を提出することとなった。

(2) 学術交流費について

前回の評議員会にて学術交流費が限られている件につき天文・天体物理若手の会に意見を求めたが、高津評議員より若手の会で検討を継続しているとの報告があった。

(3) 次回の評議員会の日程を2003年1月25日(土)と決定した。

2002年10月24日

議 長 吉井 譲 印

署名人 柴田一成 印

